

いわき市立勿来第一中学校



学校通信

薫風

～ 勿来一中だより ～

本校HPのQRコードです。



発行責任者
校長 森 義彦

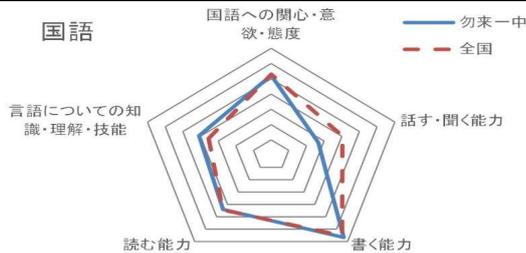
令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果がいわき市教育委員会より公表されました。本校におきましては、全国学力・学習状況調査の目的をふまえて、学校と家庭・地域が一体となった学力向上の取り組みを推進するため、調査結果と今後の取り組みについてお知らせいたします。

- 【調査の概要】(1) 実施日：平成31年4月11日(木)
 (2) 調査内容：①国語 ②数学 ③英語 ④生徒質問紙 (調査対象：3年生)

※ 本校の平均正答率は全国平均より劣っていましたが、3教科とも福島県平均と同程度となりました。各教科で設定している3～5つの観点ごとに全国平均と比較することにより、課題が明らかになりました。本校では1・2年生も含め、学校全体で次のような対策を講じることにより、学力向上に努めてまいります。

国語



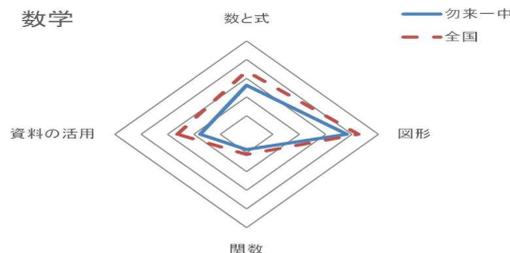
〈考察〉

「読むこと」「話すこと・聞くこと」について下回っています。中でも、相手にわかりやすく伝える表現については、選択式であるにもかかわらず誤答率が高く、今後の課題となっています。また、「話すこと・聞くこと」の分野においては、すべての項目で正答率が低く、自分の考えを伝えることも、話し合いの中で話題や方向性をとらえて自分の考えを話したりすることも不得意な生徒が多いことがわかります。

〈対策〉

- ・読み取り方の基本(文学的文章・説明的文章・詩歌)を系統立てて指導します。
- ・「話し方」や「話し合いの仕方」について、スピーチや話し合い活動を多く取り入れます。
- ・話し合いの中で自分の考えを持たせると共に、他の意見を聞いて話題や方向性に合った意見や反論を述べさせることで、思考力・表現力を向上させます。
- ・学校司書と連携し、読書指導を通して様々な種類の文章に触れさせ、読む力を養います。

数学



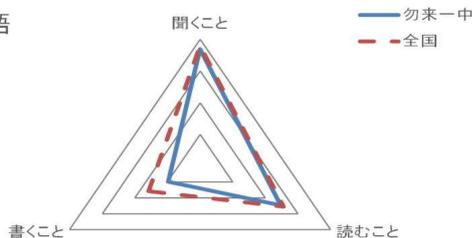
〈考察〉

記述式の問題に関しては、正答率が低く、特に理由などの説明をする問題の正答率の低さと無解答率の高さが目立ちました。記述表現することに抵抗があり、諦めてしまう様子がうかがえます。領域別では資料の活用において、中央値や最頻値の問題に関する誤答が多く、語句の意味と求め方が曖昧な生徒が多いです。問題の難易度と正答率が関係していないので復習が足りず、学習が定着していない状況と考えられます。

〈対策〉

- ・毎時間の授業において、小テストを実施し、内容の定着を図ります。また、補充プリントなどを準備し、学習量を確保するとともに計画的に復習の場を作っていきます。
- ・1年間の学習を見通しを持って行えるよう、年度始めにオリエンテーションを行います。その時に、テスト勉強の仕方やノート指導など、学習のやり方についても指導します。
- ・記述式の問題に対応できるよう普段の授業に、意見を述べ、考えを発表し、まとめる活動を取り入れていきます。

英語



〈考察〉

英語で表現されたものから情報を正確に聞き取ったり読み取ったりすることはできています。一方で「書くこと」は、全国平均より正答率が低く、語順や綴りの誤り、動詞の欠落など文法事項に課題があります。また、自分の考えを相手に伝えるために英語での適切な表記ができない生徒が多い傾向にあり、様々な場面について英語で表現する練習を多く取り入れる必要があります。

〈対策〉

- ・単語のつづりを正確に書けるように家庭学習で練習し、テストを行うようにします。
- ・社会的な話題について、自分の考えを整理して述べるができるようにします。そのために日頃から自分の考えをペアやグループで伝え合ったり、たずね合ったりする活動を行ったり、伝え合ったことを最終的な自分の意見として簡潔に書いてまとめる活動を行います。
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるようにするために、目的・場面・状況に応じて、情報を加えて話し続ける活動を取り入れます。

～保護者の皆様へ～

今回の全国学力・学習状況調査の結果を3年生に個票をお配りしますので、復習に役立たせてください。学習習慣の確立について、ご家庭での指導もよろしくお願ひします。